新田子ども会リーダー
公民館で合宿研修

「遊び場がなくなった。交通事故の危険が多い。マイホーム主義に依る親の影響…等々、最近の子ども達の遊びをみていると、一人で家での遊びが多く、兄弟や親子で遊ぶ事があっても、友達と元気で遊ぶ事が少ない。友達と遊ぶ事があっても集団で遊ぶ事がほとんどない。

遊びは子どもにとって、大人の仕事と同じように重要なものである。その遊びを通して連帯性、協調性、社会性、責任感などを養い人間関係を学んで行くものである。

この為、新田子ども会ではリーダーとしての創造性と、自主的な集団活動を身につけ地域の中で自己を再発見して「人間形成」に役立てるとともに、グループ活動の中心となって活躍出来るようにと、四月十九日、二十日に公民館に於て一泊二日の日程でリーダー研修会を開催した。

第一日の十九日は午後一時に集合し、屋上で「子ども会旗」を掲げ、開会式を行い、佐藤登会長の激励挨拶などのあと、班編成や日程説明があり会場を学習室に移動し、泉沢主事を講師に、①リーダーの重要性。②リーダー・シップ。③リーダーの心がまえ。等々リーダーとしての役割など全般について講義と、ゲーム、歌の指導が行われた。

午後四時半から実習室で夕食準備に移り、御飯たきやら肉汁づくりを賑やかに実施し、六時から会食し、入浴のあと映画鑑賞に移り「南氷洋の捕鯨」、「思いやり」をみた。

第二日の二十日は午前六時に起床かれ正副委員長の互選を行った。

また、文化財調査審議会も朝食、清掃をし午前九時から講義に移り、前夜の映画について感想文を記録したあと、「キャンプ」についての講義と、テント設営の実技が行われた。

昼食の後、午後一時半からレクリーション活動を行い、話し合いに移り、子ども会の50年度行事計画について、各月のプログラムの原案が決められた。

午後四時閉会式を行い、日程を終了した。

村内唯一の子ども会
熱心にリーダーとしての心がまえを研修

体育協会部門紹介
バスケットボール

二回の定期練習と、近郷チームとの親善をかねた交流試合中学生の指導にも手がけている。

バスケット王国新潟県にあっても、最近のわが横門クの活躍は群を抜いている。

毎年村上市で行われている県大会大丸杯では、見事三連覇の偉業をなしとげた。そしてその間の最優秀選手はすべてわがクラブの選手であったこともつけ加えておきたい。

新津工高、新潟高が高校総体や選抜大会に出場した時のリードオフマンは、共に横門Bを中心に組織され、毎週の主力はやはり横門クのメンバーである。そして彼等は同時に、国体高校の部の選抜選手ともなったのである。

中学時代の彼等の活躍もまたすばらしいものがあった。

先輩に教えられ、育った選手が、さらに後輩のために…なのである。

四十五年に三市中蒲大会ではじめて優勝して以来五連覇を続けている。郡大会は、創設以来一度も優勝をのがしていないし、女子も刺激されたのか郡大会はすべて、郡市大会も目下のところ三年連続優勝を続けている。

今や、伝統的なものが生れつつあり、横門クもさることながら、横越村体育協会発展のために、ひいては新潟県バスケットボール発展のために横門クは、今日も又、活動を続けているのである。

きびしい練習で伝統を築く、横門ク

社会教育委員体制決る
社教委員長 坪谷孝司氏
運審委員長 神田勝郎氏

村教育委員会は、四月十二日委員会を開き、任期満了となった村社会教育委員並びに村公民館運営審議委員と村文化財調査審議委員の委嘱を行った。

社会教育委員会と運営審議委員会は、去る四月十八日開副委員長の互選を行った。

また、文化財調査審議会も四月二十一日開かれ正副委員長の互選を行った。

村社会教育委員
委員長　坪谷　孝司（木津）
副委員長　阿部嘉寿一（横越）
委員　大野　正（新潟）
〃　加藤　聰（横越）
〃　小林　政子（沢海）

村公民館運営審議会委員
委員長　神田　勝郎（横越）
副委員長　阿部和一郎（小杉）
〃　紫竹　健蔵（新潟）
〃　本間　政範（新津）
〃　小嶋　明男（小杉）
〃　星　節（沢海）
〃　市村　正（横越）
〃　窪田　忠衛（沢海）
〃　佐藤　鉀男（〃）
〃　坪谷　フク（木津）
〃　渋谷　健文（二本木）
〃　皆川　秀男（藤山）
〃　五十嵐孝助（横越）
〃　議会代表未定

村文化財調査審議会委員
委員長　伊藤　成夫（沢海）
副委員長　石井　栄一（木津）
委員　曽我　広見（横越）
〃　串田　要吉（藤山）
〃　田村原三郎（新潟）
横越村公民館分館長
横越分館長　高橋　良美
沢海〃　高橋　悦郎
木津〃　宇野　収
小杉〃　中川　富栄

横越村の人口
（50年3月末現在）

総人口　8,173人（うち男3,984人 女4,189人）
世帯数　1,761世帯
3月の動き（出生15 牛1 死亡6 出転44 転出46）

横越下地区 明るい家庭づくり推進地区に指定

「青少年の健全育成は、まず家庭から」ということで、このほど新潟県から横越下地区（代表市村庄市）に明るい家庭づくり推進地区として指定された。

この事業は、昭和40年、県が提唱してきたもので、地域ぐるみで運動を展開し、明るい家庭づくりを核に青少年の健全育成をはかろうというもの。

同部落は、この運動をすすめるために、明るい家庭づくり運動推進組織をつくるほか地区住民の関心を高めるため地域ぐるみ活動できる事業の計画、「家庭の日」の浸透、そして青少年自身の自主的な活動を重視して、子ども会の結成、青年団活動の充実を考えている。

また、単なる家庭づくりにとどまらず、青少年のための施設整備や環境浄化にも努力していきたいといっている。

おめでた
（3月の出生）

新生児　親　地区
中村　俊彦　栄一　横越上
井越　奈美　清　二本木中
山田　恵　勝利　二本木下
岩田久美子　義博　藤山
九山　泉　仁吉　川根谷内
板垣　仁史　仁栄　沢海中

おくやみ
（3月の死亡）

故人　年令　地区
阿部　三一　75　横越上
石倉　ミタ　87　駒込
林　ウン　62　横越下
中村新太郎　89　沢海中
豊崎　久蔵　70　小杉中
諸橋寧一郎　78　沢海上

およろこび
（3月の結婚）

新郎新婦　地区
（中村由一「飛田野」ときみ）　横越上
（飯野竹吉「佐藤」桂子）　五泉市
二本木上
新潟市
（神田直之「植木」サチ子）　横越中
水原町
（清水誠一「稲毛」久美子）　横越中
笹神村
（五十嵐吉松「井上」みつ子）　木津下
新潟市
（中村才一「茅原」マサ子）　横越上
横越下

男子警察官 採用試験案内

○受験資格
昭和二十二年十月二日から昭和三十二年四月一日までに生れたもの。
大学卒、若しくは来春大学卒予定の方は受験できません。
○学歴
高校卒程度の学力
○採用
昭和五十年十月一日
○応募〆切
昭和五十年五月二十四日
○問い合せ
亀田警察署警務係
（TEL八一―二一二一）

第一回村民朝起野球大会

日時　5月25日から毎週火、木、土曜日
試合開始　AM5.30～AM7.00
場所　焼山球場、沢海グランド
参加資格　村民もしくは村内事業所勤務者、及び村内クラブチーム所属者
試合方法　トーナメント敗方式で敗者復活戦を採用（1回戦敗者のみ）

県民スポーツの日 横越村大会

日時　6月15日
会場　横越小、横越中体育館、横越中グランド
種目　バレーボール、ソフトボール、ボートボール
柔道、剣道、銃剣道他